

(第2回) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 7 年 5 月 2 7 日
契 約 業 者 名	電設コンサルタンツ (株)
契 約 業 者 の 住 所	東京都千代田区神田錦町 3 - 6
業 務 の 名 称	R 6 通信鉄塔耐震補強詳細設計他業務
業 務 場 所	阿賀野川河川事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
業 務 概 要 (変更した内容について 記述する)	本業務は阿賀野川河川事務所敷地内の多重無線設備用通信鉄塔について、過年度実施した耐震診断結果をもとに耐震補強に関わる詳細設計を行うものである。また、胡桃山出張所屋上に設置している多重無線設備用通信鉄塔については、耐震診断を行い、必要に応じて耐震補強に関わる詳細設計を行うものである。
履 行 期 間 (自)	令和 6 年 8 月 7 日
履 行 期 間 (至)	令和 7 年 7 月 3 1 日
変 更 前 の 契 約 金 額	2 5 , 3 0 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	+ 1 , 1 2 2 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	2 6 , 4 2 2 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 理 由	事務所鉄塔の位置変更及び予備設計に伴い、阿賀野川河川事務所の新設通信鉄塔の高さを決定するためのミラーテストを実施したところ、阿賀野川河川事務所～胡桃山出張所間の伝搬路に障害物があり、障害物を超える伝送路を確保するには、約 6 0 m の鉄塔高とする必要がある。 鉄塔の設置にあたっての敷地条件を考慮すると上記対応ができないため、新たに胡桃山出張所の無線回線を移動することで、鉄塔高を 3 0 m 程度に抑えられることから、矢代田無線中継所～胡桃山出張所間のミラーテストを、追加で実施する必要が生じた。

(第1回) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 7 年 2 月 1 4 日
契 約 業 者 名	電設コンサルタンツ (株)
契 約 業 者 の 住 所	東京都千代田区神田錦町 3 - 6
業 務 の 名 称	R 6 通信鉄塔耐震補強詳細設計他業務
業 務 場 所	阿賀野川河川事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
業 務 概 要 (変更した内容について 記述する)	本業務は阿賀野川河川事務所敷地内の多重無線設備用通信鉄塔について、過年度実施した耐震診断結果をもとに耐震補強に関わる詳細設計を行うものである。また、胡桃山出張所屋上に設置している多重無線設備用通信鉄塔については、耐震診断を行い、必要に応じて耐震補強に関わる詳細設計を行うものである。
履 行 期 間 (自)	令和 6 年 8 月 7 日
履 行 期 間 (至)	令和 7 年 5 月 3 0 日
変 更 前 の 契 約 金 額	2 1 , 0 1 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	+ 4 , 2 9 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	2 5 , 3 0 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 理 由	土木設計業務等委託契約書第 1 9 条 (設計図書の変更) に基づく変更 ・ 通信鉄塔耐震診断 1 式 ・ 通信鉄塔対策検討 1 式